

# 22期 日本インプラント臨床研究会 新人発表会を終えて

日時：平成30年4月1日(日)  
場所：都市センターホテル  
講師：中野 喜右人先生



荒野 貴行  
(東京都)



宮下 達郎  
(京都府)

2018年4月1日都市センターホテルにて日本インプラント臨床研究会新人発表会が行われました。参加者は40名、発表者は27名でインプラント治療が初心者の先生から経験豊富な先生まで様々で、昨年度認定講習会を受講した22期メンバーが多く出席し下顎の中間歯欠損から全顎的多数歯欠損症例など幅広い演題内容でした。質疑応答では術式だけではなく、写真の撮り方、発表の仕方など細やかな事まで活発な答弁がありました。私の発表時の座長は群馬の齋藤琢也先生で、いつもは勤務先の佐久間栄先生に指導を受けていますが違う専門医の先生からもご指導をいただけて大変勉強になりました。

特別講演会では「専門医取得をめざして」という演題で中野喜右人先生から取得のための資料採得、重要事項などのレクチャーがあり以前までとの変更点、専門医までのタイムスケジュール等を学びました。開業医に勤務している私にとって他の先生方の前での症例報告は貴重な経験で、発表することによって日常臨床では気がつかなかった事、また他の先生の症例を見る事で違った視点からの治療計画を知る事ができました。

新人発表を終えて日本インプラント臨床研究会(CISJ)の一般会員になることが出来たので、今後は認定会員を目指して年一回の全員発表会に参加出来るようにCISJやさくま歯科医院で研鑽を重ねていきたいです。

最後に認定講習会から新人発表会までの運営をして頂いた田中譲治会長を始めCISJ会員の先生方に厚く御礼を申し上げます。CISJに少しでも貢献できるように頑張ります。 荒野 貴行

2018年4月1日 永田町 都市センターホテルに於いて第22期日本インプラント臨床研究会新人発表会が開催された。2017年4月より認定講習会を受講した面々が各々のケースを大勢の前で発表し、晴れて一般会員として認められた。かく言う小生もそのうちの一人である。発表はインプラント経験が豊富な者、そうでない者様々であったが、その一つ一つが非常に勉強になり有意義であった。中でも自身の発表に関してのコメントを座長の先生だけでなく多くの先生方から頂けたことは何ものにも代え難いと感じた。また、自分と同年代の先生が難易度の高い審美ケースを綺麗に仕上げているのはとても良い刺激となった。小生もまた歯周病、口腔外科をバックボーンに持つため軟組織、硬組織のマネジメントを軸に、インプラントの経験数を増やし着実にラーニングステージをステップアップしていくつもりだ。

ケースプレゼンテーションの経験がない者からすると避けて通りたくなる気持ちは理解できる。しかし一つのケースを見つめ直し、参考文献を調べ、考察するという作業は、自分の治療の妥当性を確認できるだけでなく、改良点、改善点が見えてくると感じる。更にその発表に対し様々な批評をいただくことでインプラントに対する見識は深まると考えている。今後も精力的に研修会等へ参加し、義務感を感じることなく自発的に発表を続け成長していく所存である。また、同期会員にも参加を強く促していきたい。

宮下 達郎